

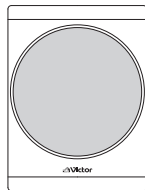
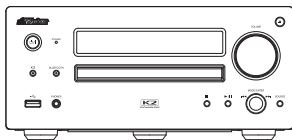
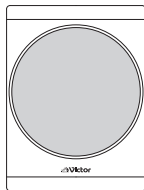


Victor

取扱説明書/保証書

コンパクトコンポーネントシステム

EX-HR10000/EX-HR99/EX-HR55



※イラストは EX-HR55 を使用しています。

※本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネットと振動板に天然木を使用しています。そのため、外観が一台ごとに異なります。



**MP3/WMA
WAV/FLAC**



DEUS



Qualcomm®
aptX™

・ もくじは4 ページにあります。

お買い上げありがとうございます

ご使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



ユーザー登録 のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。

ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。下記ウェブサイト、または添付されている場合はハガキのどちらからでもご登録いただけます。

● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>



TINSJA364AWZZ

B5A-2837-10

はじめに

本機を楽しむには

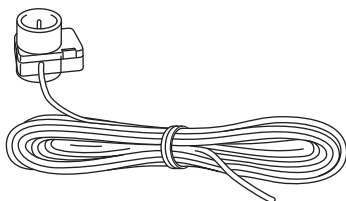
音声を楽しむために準備しましょう

スピーカーと接続しましょう (p. 12)



ラジオを聴きたい方は、アンテナを接続しましょう

FM アンテナを接続する (p. 14)



お知らせ

- FM アンテナは本機に付属しています。

いろいろなソース(音源)を聴きましょう

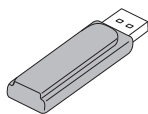
BLUETOOTH 機器 (p. 18)



ラジオ (p. 27)

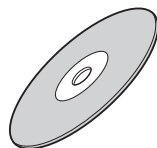


USB メモリー (p. 21)



デジタルオーディオプレーヤー、
テレビ、BD/DVD レコーダーなど
の外部機器 (p. 30)

CD (p. 21)



本書のボタン表記について

- 本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書のその他の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3 / WMA / WAV / FLAC の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

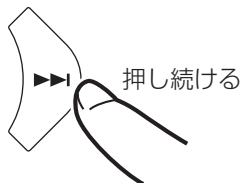
ボタンを短めに押す：

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押し時間や力を調整して数回試してみてください。



ボタンを長めに押す：

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



この製品の機種銘板は本体の背面にあります。

レーザー製品についてのご注意

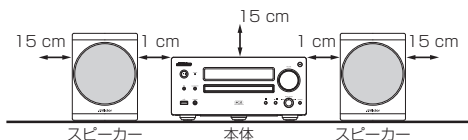
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

本機を設置するときは

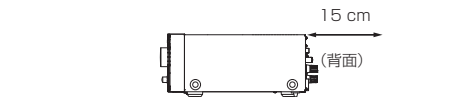
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

- 本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

もくじ

| | | | |
|------------------------------|-----------|------------------------------------|-----------|
| はじめに | 2 | ラジオを聴く | 27 |
| 本機を楽しむには | 2 | 放送局を受信する | 27 |
| 本機を設置するときは | 3 | 受信状態を改善する(アンテナ調整) | 28 |
| 準備する | 5 | 放送局を記憶させる(プリセット) | 28 |
| 付属品を確認する | 5 | 外部機器を聴く | 30 |
| リモコンを準備する | 5 | 外部機器を接続する | 30 |
| 各部の名称 | 6 | 外部機器を聴く | 31 |
| リモコン | 6 | USB メモリーに録音する | 32 |
| 本体前面 | 8 | 録音音質を設定する | 32 |
| 本体背面 | 10 | CD を録音する | 33 |
| 表示部 | 11 | ラジオ/外部機器を録音する | 34 |
| 接続する | 12 | 録音ファイルの保存場所 | 34 |
| スピーカーを接続する | 12 | 録音モードを設定する | 35 |
| FM アンテナを接続する | 14 | 音質を設定する | 37 |
| 他の機器(市販品)を接続する | 15 | 再生音質を高める(「K2」機能) | 37 |
| 電源コードを接続する | 16 | 重低音を強める | 37 |
| ヘッドホンを接続する | 16 | 好みの音質に設定する | 37 |
| 基本操作 | 17 | スピーカーの左右の音量バランスを調整する | 37 |
| 電源を入れる/切る | 17 | その他の機能 | 38 |
| スタンバイモードを切り換える | 17 | 表示部の明るさを変える | 38 |
| いろいろなソース(音源)を聴く | 17 | 表示される情報を変える | 38 |
| BLUETOOTH 機器を聴く | 18 | スリープタイマーを設定する | 38 |
| BLUETOOTH 機器を接続する | 18 | オートパワーセーブ(節電機能)を設定する | 39 |
| BLUETOOTH 機器の基本操作 | 19 | その他の情報 | 40 |
| 接続を解除する | 19 | 使用できる BLUETOOTH 機器 | 40 |
| 電波について | 20 | 再生できる CD とファイル | 40 |
| USB メモリー/CD を聴く | 21 | CD-R / CD-RW のご注意 | 40 |
| USB メモリー/CD を準備する | 21 | USB メモリーのご注意 | 40 |
| USB メモリー/CD の基本操作 | 22 | MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのご注意 .. | 40 |
| プログラム再生をする | 23 | ファイルの再生順について | 41 |
| リピート再生をする | 25 | SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム) .. | 42 |
| ランダム再生をする | 26 | お手入れについて | 42 |
| チャイルドロックを使う | 26 | 商標 | 42 |
| | | 故障かな?と思ったら | 43 |
| | | 主な仕様 | 45 |
| | | 保証とアフターサービス | 47 |

準備する

付属品を確認する

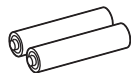
お使いになる前にお確かめください。

リモコン (1個)

RM-SEEXHR99



リモコン用単4形乾電池 (2本)



スピーカーコード
(1.5m、2本)



FM簡易型室内アンテナ (1本)

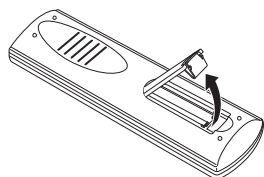


リモコンを準備する

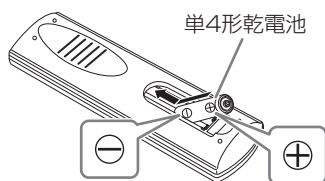
電池を入れる

電池の⊕と⊖の向きを正しく入れてください。

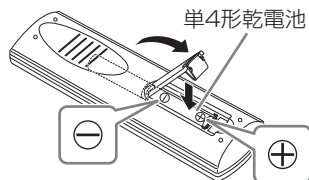
1 リモコン背面のカバーを開ける



2 1本目の電池を入れる



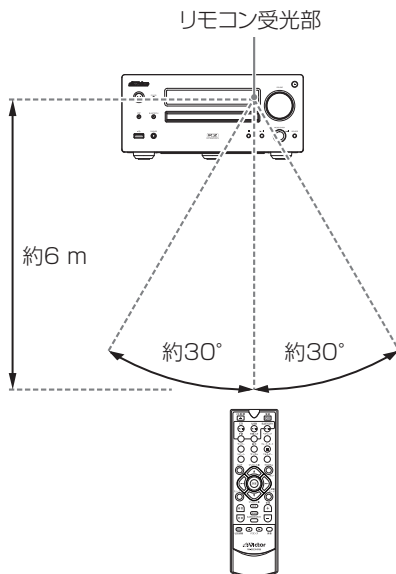
3 2本目の電池を入れて、カバーを閉める



ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶついたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

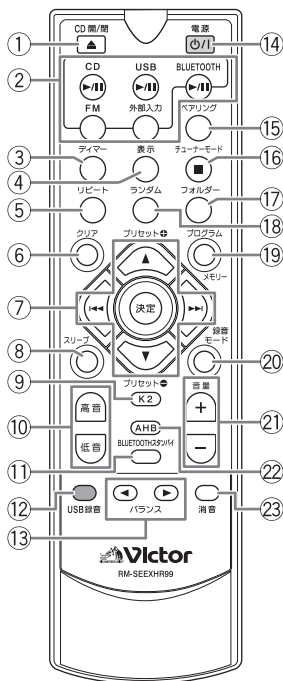
操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

各部の名称

リモコン



① ▲(CD 開/閉)ボタン

CD トレイを開閉します。

② ソース(音源)切換、再生/一時停止ボタン

・▶/|| (CD) ボタン

ソース(音源)を CD に切り換えます。また、CD の再生 / 一時停止をします。

・▶/|| (USB) ボタン

ソース(音源)を USB メモリーに切り換えます。また、USB メモリーの再生 / 一時停止をします。

・▶/|| (BLUETOOTH) ボタン

ソース(音源)を BLUETOOTH 機器に切り換えます。また、BLUETOOTH 機器の再生 / 一時停止をします。

・FM ボタン

ソース(音源)をラジオ放送(FM)に切り換えます。

・外部入力ボタン

ソース(音源)を外部機器接続(デジタル入力またはライン入力)に切り換えます。

③ ディマーボタン

表示部の明るさを切り換えます。

④ 表示ボタン

表示部の表示内容を切り換えます。

⑤ リピートボタン

USB メモリーまたは CD のリピート再生をします。

⑥ クリアボタン

プログラム再生のプログラム内容を確認中に、表示中の曲を削除します。また、ラジオ放送(FM)のプリセット内容を削除します。

⑦ 選択ボタン

• ◀◀/▶▶ ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早送り、早戻しします。

• ▲/▼(プリセット+/-) ボタン

フォルダーや記憶させたラジオの放送局などを選びます。

• 決定ボタン

選んだ設定項目を決定します。

⑧ スリープボタン

スリープタイマーを設定します。

⑨ 「K2」ボタン

「K2」機能のオン・オフを切り換えます。

⑩ 音質設定ボタン

• 高音ボタン

高音の音質を調整します。

• 低音ボタン

低音の音質を調整します。

⑪ BLUETOOTH スタンバイボタン

本機の電源が切れているときに押すと、スタンバイモードを切り換えます。

⑫ USB 録音ボタン

音楽 CD、ラジオ、外部機器(LINE1 / LINE2)の音を USB メモリーに録音します。

⑬ ◀▶(バランス)ボタン

スピーカーの左右の音量バランスを調整します。

⑭ 電源(電源)ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

⑮ ペアリングボタン

他の BLUETOOTH 機器を接続します。

⑯ ■(チューナーモード)ボタン

ソース(音源)の再生や USB メモリーへの録音を停止します。また、ラジオ放送(FM)の選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を切り換えます。

⑰ フォルダーボタン

フォルダーモードに切り換えます。

⑱ ランダムボタン

USB メモリーまたは CD のランダム再生をします。

⑲ プログラム / メモリーボタン

プログラム再生をします。

㉑ 録音モードボタン

録音モードを設定します。

㉒ +/- (音量)ボタン

音量を調整します。+ ボタンを押すと音量が上がり、- ボタンを押すと音量が下がります。

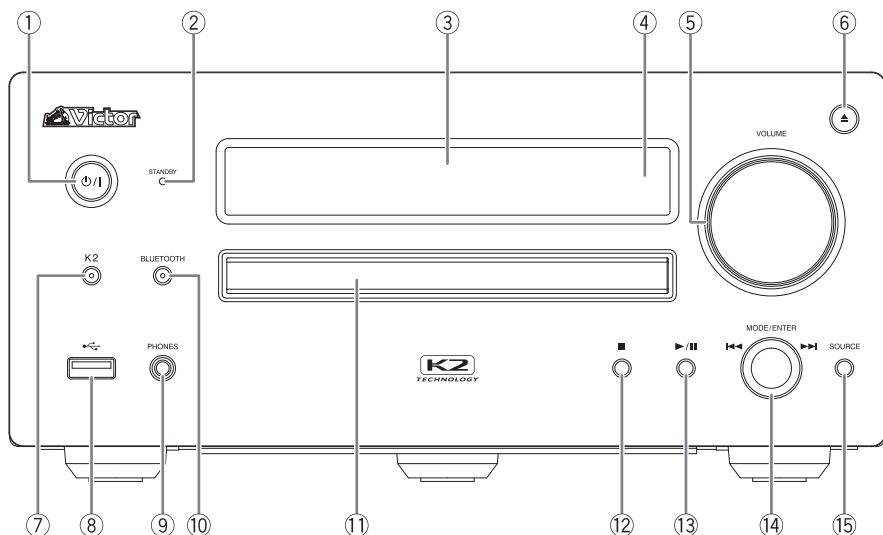
㉓ AHB ボタン

重低音を強めます。

㉔ 消音ボタン

音量を一時的に消音します。

本体前面



① 電源ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

② STANDBY インジケーター

本機の電源が切れている(ノーマルスタンバイ)のときは、赤色に点灯します。
本機の電源が入っている、または BLUETOOTH スタンバイのときは、消灯します。

③ 表示部

本機の状態が表示されます。

④ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

⑤ VOLUME つまみ

音量を調整します。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

⑥ ▲ ボタン

CD トレイを開閉します。

⑦ 「K2」ボタン(「K2」インジケーター)

「K2」機能のオン・オフを切り換えます。「K2」機能がオンのときは、白色に点灯します。

⑧ USB 端子

USB メモリーを接続します。

⑨ PHONES 端子(ヘッドホン端子)

ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

⑩ BLUETOOTH ボタン(BLUETOOTH インジケーター)

ソース(音源)を BLUETOOTH 機器に切り換えます。BLUETOOTH 機器と接続したときは、白色に点灯します。
BLUETOOTH 機器と接続していないときは、白色に点滅します。

⑪ CD トレイ

CD を入れます。

⑫ ■ ボタン

ソース(音源)の再生や USB メモリーへの録音を停止します。

⑬ ▶|| ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生 / 一時停止をします。

⑭ MODE/ENTER(◀◀ / ▶▶) ボタン

設定項目や曲などを選びます。

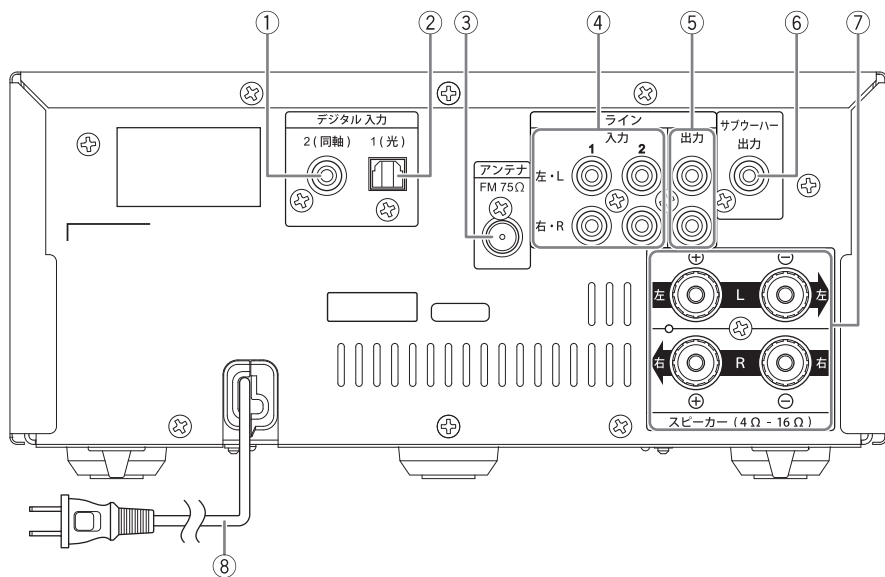
⑮ SOURCE ボタン

ソース(音源)を切り換えます。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)でも、少量の電力を消費します。

本体背面



① デジタル入力 2(同軸)端子

同軸デジタル出力端子がある外部機器を、同軸デジタルケーブル(市販品)を使用して接続します。

② デジタル入力 1(光)端子

光デジタル出力端子がある外部機器を、光デジタルケーブル(市販品)を使用して接続します。

③ アンテナ FM 75Ω 端子

付属の FM 簡易型室内アンテナを接続します。

④ ライン入力端子

アナログ音声出力端子がある外部機器を、オーディオコード(市販品)を使用して接続します。

⑤ ライン出力端子

アナログ音声入力端子がある外部機器を、オーディオコード(市販品)を使用して接続します。

⑥ サブウーハー出力端子

アナログ音声入力端子があるアンプ内蔵サブウーハーを、オーディオコード(市販品)を使用して接続します。

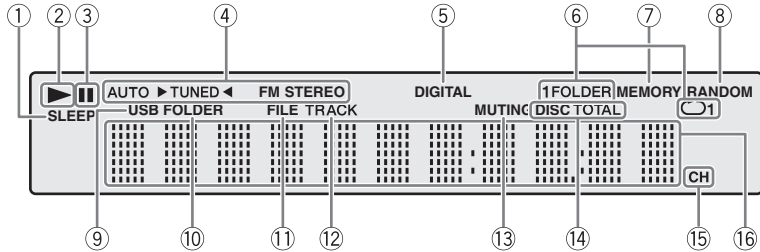
⑦ スピーカー(4Ω-16Ω)端子

付属のスピーカーを、スピーカーコードを使用して接続します。

⑧ 電源コード

電源コンセントに接続します。

表示部



① SLEEP アイコン

スリープタイマーを設定すると、点灯します。

② ▶(再生)アイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、再生中に点灯します。

③ ||(一時停止)アイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、一時停止中に点灯します。

④ 受信表示

ソース(音源)が「BLUETOOTH」または「FM」のとき、受信状態を表示します。

AUTO アイコン

ラジオのオート選局時に点灯します。マニュアル選局時は消灯します。

▶ ◀アイコン

BLUETOOTH 機器と接続すると、点灯します。

▶TUNED◀アイコン

ラジオ放送を受信すると、点灯します。

FM アイコン

ソース(音源)が「FM」のときに点灯します。

STEREO アイコン

FM ステレオ放送を受信すると、点灯します。

⑤ DIGITAL アイコン

音源が「DIGITAL IN1」または「DIGITAL IN2」で、デジタル信号が入力されているときに点灯します。デジタル信号が入力されていないときは点滅します。

⑥ リピートモードアイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、リピート再生中に点灯します。

1FOLDER アイコン

フォルダーの曲をリピート再生するときに点灯します。

∞ アイコン

すべての曲をリピート再生するときに点灯します。

∞1 アイコン

1曲をリピート再生するときに点灯します。

⑦ MEMORY アイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、プログラム再生中に点灯します。

⑧ RANDOM アイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、ランダム再生中に点灯します。

⑨ USB アイコン

ソース(音源)が「USB」のときに点灯します。

⑩ FOLDER アイコン

オーディオファイルのフォルダーを表示しているときに点灯します。

⑪ FILE アイコン

オーディオファイルを表示しているときに点灯します。

⑫ TRACK アイコン

トラックを表示しているときに点灯します。

⑬ MUTING アイコン

消音中に点灯します。

⑭ 表示切り換えアイコン

DISC アイコン

ディスク再生停止中、ディスク全体の経過時間を表示しているときに点灯します。

TOTAL アイコン

ディスク再生停止中、ディスク全体の経過時間を表示しているときに点灯します。

⑮ CH アイコン

FM 放送局のプリセット番号を表示しているときに点灯します。

⑯ テキスト表示

各ソース(音源)の情報を表示します。

接続する

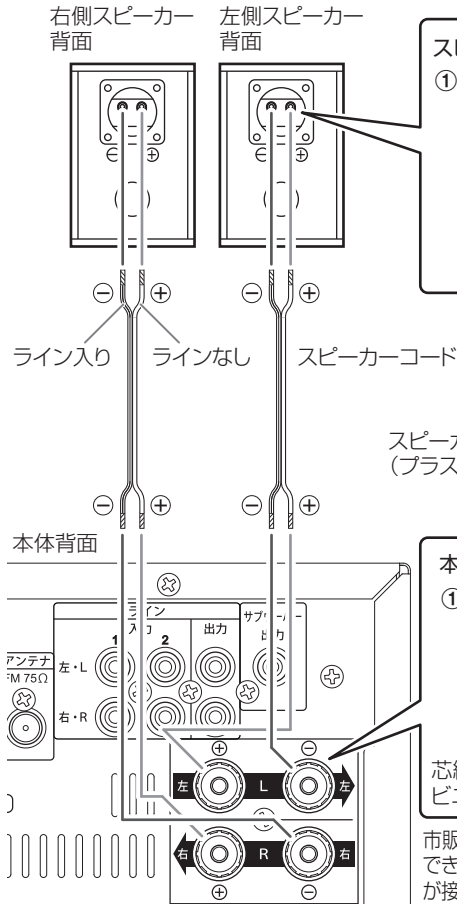
ご注意

- ・すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ・接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーを接続する

ご注意

- ・スピーカーには、左右の区別はありません。
- ・付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- ・他のスピーカーを接続すると、故障の原因になることがあります。
- ・1つの端子に2つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- ・スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れてください。
- ・スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。



スピーカーへのスピーカーコードの接続

- ① ねじを回して端子を開ける
- ② 芯線をまっすぐ挿入する
- ③ ねじを締める



スピーカーコードの接続は、本体とスピーカーの極性(プラス同士とマイナス同士)を合わせて接続してください。

本体へのスピーカーコードの接続

- ① ねじを回して端子を開ける
- ② 芯線を挿入する
- ③ ねじを締める

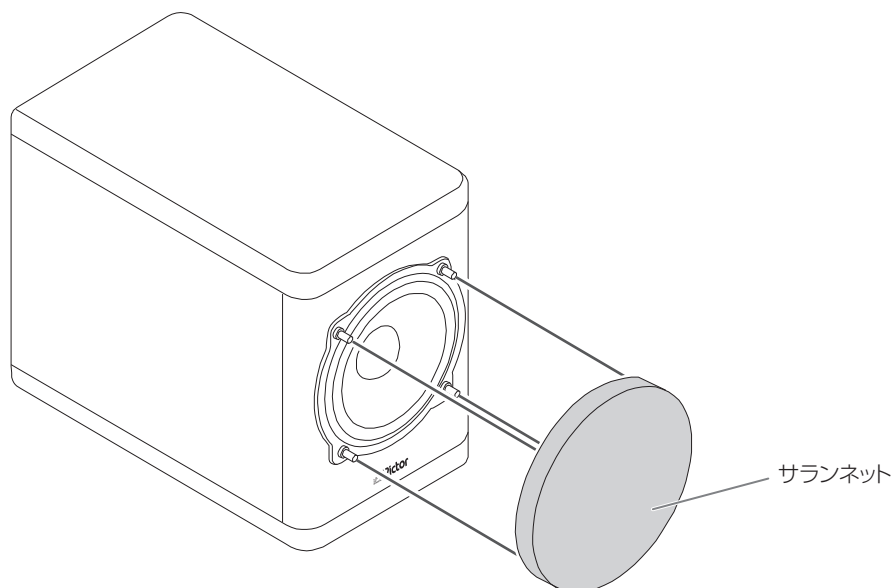


芯線が1~2mm見える程度まで差し込んでください。ビニールの被覆まで差し込んでしまうと、音が出ません。

市販のバナナプラグを使用してスピーカーコードを接続することもできます。本体のスピーカー端子を締めてから、スピーカーコードが接続されたバナナプラグを端子の穴に挿入してください。

サランネットの取りはずし

スピーカーのサランネットは取りはずすことができます。



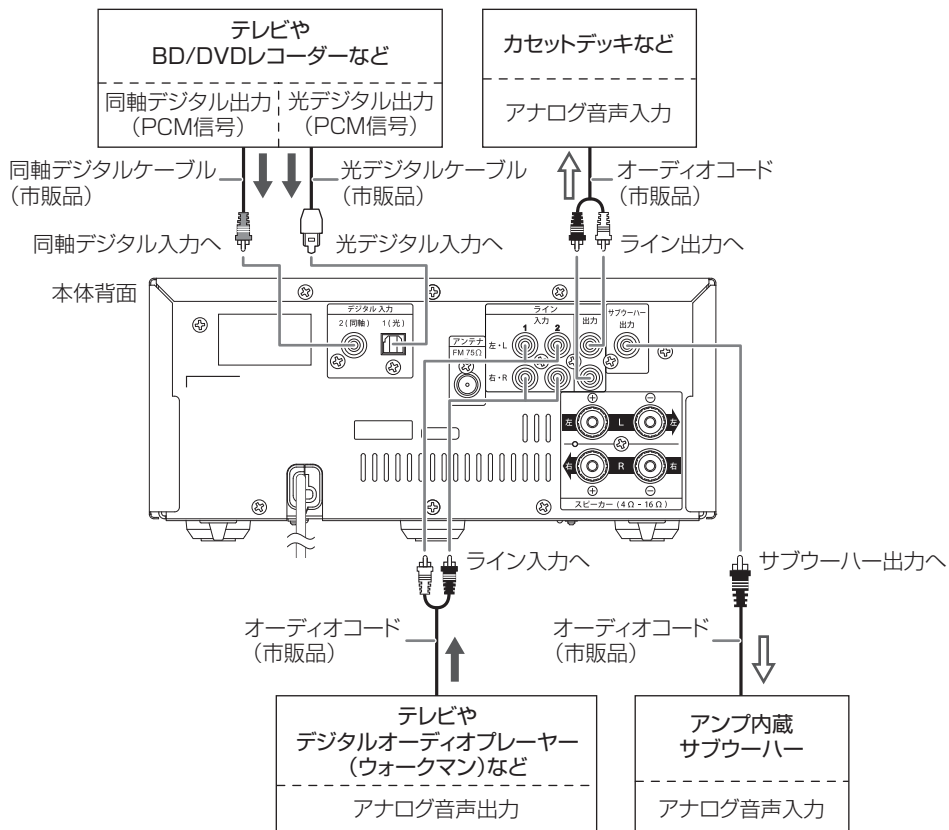
本機のスピーカーについて

- 本機のスピーカーは、キャビネットと振動板に天然木を使用しています。そのため、外観が一台ごとに異なります。
- 木材は温度・湿度が急激に変化すると、ひび割れなどが発生する原因になりますので、直射日光やエアコンなどからの温風が直接キャビネットに当たらないよう、設置場所にご配慮をお願いいたします。
- キャビネットなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

他の機器(市販品)を接続する

ご注意

- 接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

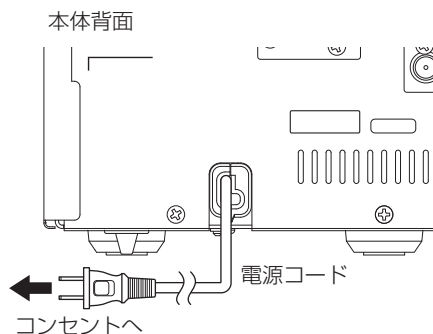


お知らせ

- お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。
- デジタル入力端子に接続した場合は、テレビや BD レコーダーなどの接続機器側のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。



お知らせ

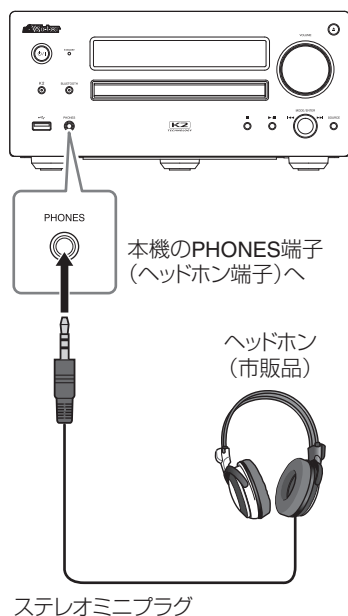
- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを装着する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の3.5mmステレオミニプラグ(3極タイプ)のヘッドホンをお使いください。



基本操作

電源を入れる／切る

リモコン

電源



本体



お知らせ

- リモコンの各ソース(音源)ボタンを押して電源を入れることもできます。

スタンバイモードを切り換える

本機では、2種類のスタンバイモードを設定できます。

本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

BLUETOOTHスタンバイ



(くり返し押す)

- BLUETOOTH スタンバイモード:
STANDBY インジケータが消灯し、ディスプレイに「BT Standby」と表示されます。本機の電源が切れているときでも、BLUETOOTH 機器と接続できます。
- ノーマルスタンバイモード:
STANDBY インジケータが点灯し、表示部には何も表示されません。節電状態になります。本機の電源が切れているときは、BLUETOOTH 機器と接続できません。

いろいろなソース(音源)を聴く

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン

BLUETOOTH



USB



CD



外部入力



FM



本体

SOURCE



BLUETOOTH



(くり返し押す)

- リモコンの外部入力ボタンをくり返し押すと、ソース(音源)を DIGITAL IN1 / DIGITAL IN2 / LINE1 / LINE2 に切り換えることができます。

2 音量を調節する

リモコン

音量



(くり返し押す)

本体

VOLUME



(回す)

- 調節範囲: 0(Min) ~ 50(Max)
- リモコンの[+] / [-] (音量) ボタンを押し続けると、連続して変わります。

一時的に消音する



消音

「MUTING」アイコンが点灯します。

お知らせ

- もう一度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。
- ソース(音源)を切り換えると、消音が解除されます。

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機をペアリング(登録)してください。

BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 本機を BLUETOOTH 受信状態にする

電源が切れているときは、BLUETOOTH スタンバイにしてください。(p. 17)

電源が入っているときは、ソース(音源)を「BLUETOOTH」に切り換えてください。

リモコン

本体

BLUETOOTH

SOURCE

BLUETOOTH



(くり返し押す)

- BLUETOOTH インジケーター(白色)が点滅します。

2 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

- ① 「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③ 「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」→「Bluetooth」の順にタップする

または、

「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

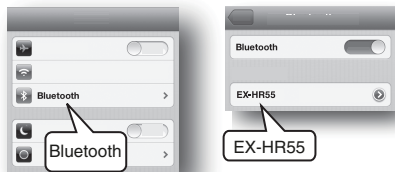
3 相手機器で本機を選ぶ

EX-HR10000 の場合は、「HR10000」を選んでください。

EX-HR99 の場合は、「EX-HR99」を選んでください。

EX-HR55 の場合は、「EX-HR55」を選んでください。

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の画面例



ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

ディスプレイに「Connected」と表示され、BLUETOOTH インジケーター(白色)が点滅から点灯になり、「▶ ◀」アイコンが点灯します。

- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン

本体

BLUETOOTH

▶ / ||



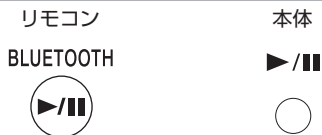
- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

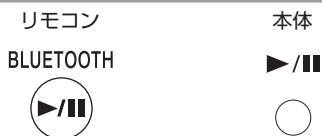
- ソース(音源)を BLUETOOTH に切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

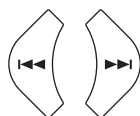


一時停止する



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ



(くり返し押す)

接続を解除する

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。
ディスプレイに「Disconnect」と表示され、接続が解除されます。

BLUETOOTH インジケーター(白色)が点灯から点滅に変わり、「▶ ◀」アイコンが消灯します。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- 本機または相手機器の電源を切ったとき
- 他のソース(音源)に切り換えたとき

他の BLUETOOTH 機器を接続する

ペアリング



(押し続ける)

ディスプレイに「Disconnect」と表示されます。

BLUETOOTH インジケーター(白色)が点灯から点滅に変わり、「▶ ◀」アイコンが消灯し、ペアリング待機状態になります。

他の BLUETOOTH 機器を接続してください。

ご注意

- 電波状況によって音声途切れたり、詰まって聞こえたりする場合があります。本機または接続機器の設置位置を変更してください。
- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止、選曲)ができない場合があります。
- 相手機器のイコライザ機能がオンになっていると、音声が歪む場合がありますので、オフにしてください。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

-分解/改造すること

-本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- ・製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10 m です。

□□□ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- ・使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- ・下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

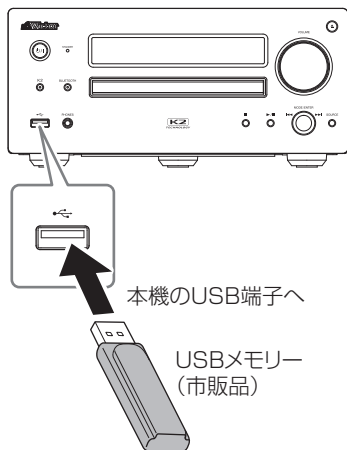
- ・本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

USB メモリー / CD を聴く

USB メモリー / CD を準備する

USB メモリーを聴くとき

USB メモリーを接続する



接続すると、USB メモリー内にあるファイル数の合計と USB メモリー名が表示されます。

ファイル数の合計が 999 以上の場合、実際のファイル数にかかわらず「---」と表示されます。

ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやファイルシステムが壊れて、USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- iPod、iPhone、Android 端末、ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 18)または本機のライン入力端子に接続してください。(p. 30)

CD を聴くとき

1 CD トレイを開ける

リモコン

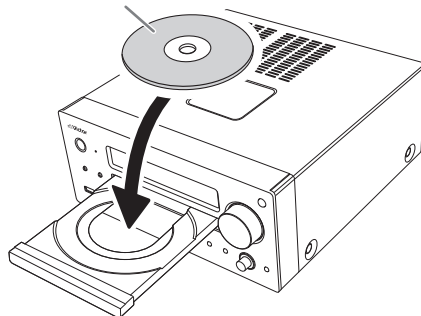
本体

CD 開/閉



2 CD を入れる

レーベル面



3 CD トレイを閉める

リモコン

本体

CD 開/閉



- CD 認識中は「Reading」と表示されます。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)に[▲]ボタンを押すと、電源が入り CD トレイが開きます。

USB メモリー / CD の基本操作

再生する

リモコン



本体

SOURCE



(くり返し押す)



- ソース(音源)が「USB」のときは、「USB」アイコンが点灯します。
- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルを再生するときは、ファイル情報が表示されます。

お知らせ

- WAV / FLAC ファイルは CD では再生できません。

一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

停止する

リモコン

チューナーモード



本体

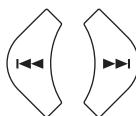


お知らせ

- 音楽 CD の停止中は「DISC TOTAL」アイコンが点灯し、CD の全体の再生時間が表示されます。
- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルは、停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します(リジューム機能)。停止中にもう一度「■」ボタンを押すと、リジューム機能は解除されます。

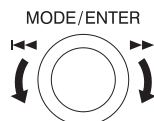
曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

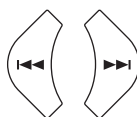
本体



(回す)

早戻し / 早送りする

再生中に



(押し続ける)

お知らせ

- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合は、早戻し / 早送りの動作中に音が出ません。

フォルダー番号とファイル番号から曲を選ぶ (MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのみ)

1 フォルダー番号とファイル番号を表示する

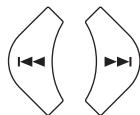
フォルダー



- フォルダーモードに切り換わり、「FOLDER」アイコンが点灯します。

2 フォルダーとファイルを選ぶ

プリセット



プリセット

(くり返し押す)

(くり返し押す)

- [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイルを選びます。

3 再生する

リモコン



本体



プログラム再生をする

USB メモリーまたは CD の曲を 32 曲までお好みの順で再生します。

お知らせ

- プログラム再生の登録が 32 曲を超えると、「Prog Full」を表示します。

1 プログラムモードを表示させる 停止中に

プログラム



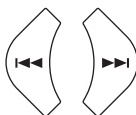
メモリー

- 「Program」と表示され、「MEMORY」アイコンが点滅します。

2 曲を選ぶ

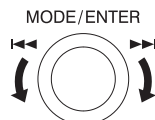
音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押す)

本体

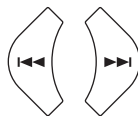


(回す)

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合

フォルダーとファイルを選ぶ

プリセット



プリセット

(くり返し押す)

(くり返し押す)

- [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイルを選びます。
- リモコンの [◀◀] / [▶▶] ボタンの代わりに、本体の MODE/ENTER (◀◀ / ▶▶) ボタンを回してファイルを選ぶこともできます。

3 曲を登録する

プログラム



メモリー

4 手順 2~3 をくり返して、他の曲を登録する

5 再生する

リモコン

本体

USB

CD



- プログラムした順序で曲が再生されます。

お知らせ

- 設定中は「MEMORY」アイコンが点滅、再生中は「MEMORY」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

プログラム



メモリー

(くり返し押し)

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

1 プログラム内容の確認モードを表示させる プログラム再生停止中に

プログラム



メモリー

- 「MEMORY」アイコンが点滅します。

2 プログラム追加モードを表示させる

プログラム



メモリー

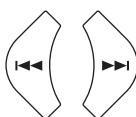
(押し続ける)

- プログラムした曲数の次の番号が表示されます (5 曲プログラムした場合は、6 曲目の登録画面が表示されます)。

3 曲を選ぶ

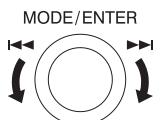
音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押し)

本体



(回す)

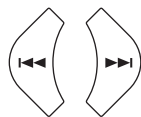
MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合

フォルダーとファイルを選ぶ

プリセット⬆



プリセット⬇
(くり返し押し)



(くり返し押し)

- [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイルを選びます。
- リモコンの [◀◀] / [▶▶] ボタンの代わりに、本体の MODE/ENTER (◀◀ / ▶▶) ボタンを回してファイルを選ぶこともできます。

4 曲を登録する

プログラム



メモリー

- ・プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

プログラム内容確認中に

クリア



表示中の曲が取り消されます。(1曲削除)

お知らせ

- ・途中の曲を取り消したい場合は、[プログラム(メモリー)]ボタンをくり返し押しして取り消したい曲の番号を表示させ、[クリア]ボタンを押します。
- ・全曲削除したい場合は、次の「プログラム再生を解除する」をご覧ください。

プログラム再生を解除する

プログラム再生停止中に

リモコン

チューナーモード



本体



「Prog Clear」と表示され、すべてのプログラム内容が消去されます。

- ・以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CDを取り出す
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USBメモリーを取りはずす




リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ 再生中または停止中に

リピート



(くり返し押し)

- Repeat One : 現在の曲をくり返します。設定中は「」アイコンが点灯します。
- Repeat Fold* : 現在のフォルダーの曲をくり返します。設定中は「」アイコンと「1FOLDER」アイコンが点灯します。
- Repeat All : USBメモリーまたはCDのすべての曲をくり返します。設定中は「」アイコンが点灯します。
- Normal : リピート再生を解除します。
*フォルダーモード選択時のみ

2 (停止中のときは)再生する

リモコン



本体



お知らせ

- ・プログラム再生中に「Program Rep」にすると、プログラムをリピート再生します。

リピート再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

リピート



(くり返し押し)

- ・以下の場合もリピート再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CDを取り出す
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USBメモリーを取りはずす

ランダム再生をする

再生中または停止中に

「Random」を選ぶ

ランダム



- ランダムモードが設定されると「RANDOM」アイコンが点灯します。
- フォルダーモードのときは、フォルダー内ランダムになります。
- ランダム再生中に[◀◀] ボタンを押しても、前の曲に戻ることはできません。
- プログラム再生中はランダム再生はできません。

ランダム再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

ランダム



- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす

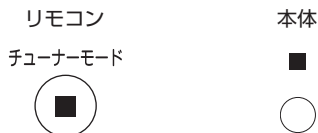
チャイルドロックを使う

本機に入れたディスクを取り出せないようにロックすることができます。

チャイルドロックを設定する

ソース(音源)が「CD」のときに、CD トレイにディスクが入った状態で、以下の操作をしてください。

1 ■ ボタンを約 5 秒間押し続ける



(約 5 秒間押し続ける) (約 5 秒間押し続ける)

2 電源(電源)ボタンを押す



- 「Locked」と表示されます。

チャイルドロックを解除する

設定時と同じ操作をしてください。

- 「Unlocked」と表示されます。

ラジオを聴く

ラジオを聴く前に、必ずアンテナを接続してください。
(p. 14)

お知らせ

- 本機は、FM ラジオで AM ラジオの一部が聴ける「ワイド FM」に対応しています。

放送局を受信する

受信方法は、オートとマニュアルの2種類があります。

1 ソース(音源)を「FM」にする

リモコン

FM



本体

SOURCE



(くり返し押す)

- ソース(音源)が「FM」のときは、「FM」アイコンが点灯します。
- FM ステレオ放送を受信すると「STEREO」アイコンが点灯します。

2 選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を選ぶ

リモコン

チューナーモード



(くり返し押す)

本体

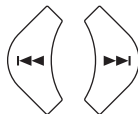


(くり返し押す)

- 電波状態の良い場合はオート選局を選びます。(「AUTO」アイコンが点灯します)
- 電波状態の悪い場合はマニュアル選局を選びます。(「AUTO」アイコンが消灯します)

3 放送局を選ぶ

オートで選ぶ場合

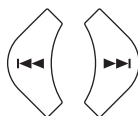


(約 2 秒間押し続ける)

押し続けると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局中は「▶ ◀」アイコンが点滅します。
- 選局を途中で停止したいときは、もう一度押しします。

マニュアルで選ぶ場合



(くり返し押す)

- くり返し押すと 0.1 MHz ずつ受信周波数が変わります。
- 押し続けると連続して周波数が変わり、離すと停止します。
- 選局中は「▶ ◀」アイコンが点滅します。

4 選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を選ぶ

お知らせ

- FM ステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信にすると聴きやすくなります。
- オート選局ではステレオ受信、マニュアル選局ではモノラル受信になります。
- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。
- ワイド FM とは、AM の電波が受信しづらい、鉄骨の建物内・ビルや山に囲まれた地域、外国からの混信などの難聴および災害対策のため、AM 放送の番組を FM 放送の拡張帯域(90~95MHz)で再送信する放送サービスです。
- ワイド FM ですべての AM 放送が受信できるものではありませんが、お住まいの地域によって受信可能な放送局・周波数が異なりますので、新聞の番組表や、お聴きになりたい放送局のホームページなどでご確認ください。

受信状態を改善する(アンテナ調整)

受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、付属のFM簡易型室内アンテナを調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄骨構造の住宅では、電波が遮られるため、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、付属のFM簡易型室内アンテナを窓際に近づけてください。
- 付属のFM簡易型室内アンテナで放送を良好に受信できない場合は、市販の屋外用のFMアンテナの設置をおすすめします。

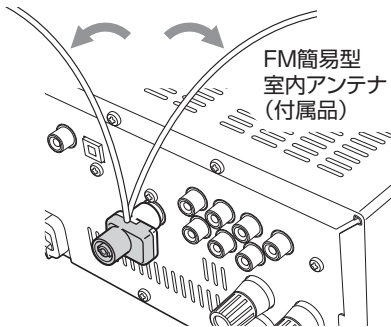
FMアンテナを調整する

付属のFM簡易型室内アンテナを調整し、固定します。

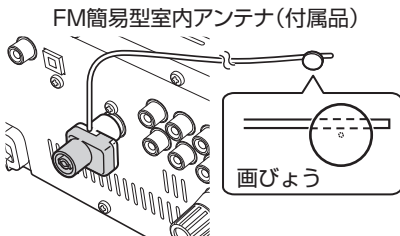
1 FM放送を聴きながら、FMアンテナの位置を調整する

高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。

付属のFM簡易型室内アンテナはできるだけ窓の近くや、屋外に面した壁側に設置することをおすすめします。



2 画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる



ご注意

- 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようご注意ください。
- 付属のFM簡易型室内アンテナが結ばれている場合は、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM放送局を、最大40局まで記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 プリセット番号を表示する

プログラム



メモリー

- 「MEMORY」アイコンとプリセット番号が点滅します。点滅している間に、以下の操作をしてください。

3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

プリセット+



プリセット-

(くり返し押す)

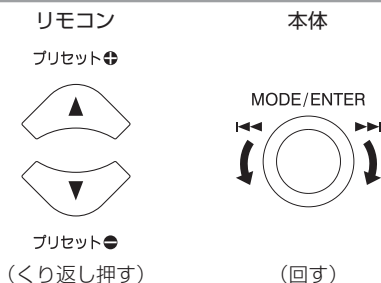
4 記憶させる

プログラム



メモリー

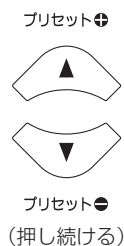
記憶した放送局を呼び出す



記憶した放送局を自動で検索する

記憶された放送局は、自動で検索することができます。
(プリセットメモリスキャン)

1 放送局を検索する



- ・プリセット番号が点滅し、記憶された放送局が順番に切り換わります。

2 お好みの放送局が受信されたら、もう一度 [▲] / [▼] ボタンを押す

お知らせ

- ・プリセット番号を消去するには、ソース(音源)を「FM」にして、[クリア] ボタンを押し続けてください。
「Tuner Clear」と表示され、すべてのプリセット番号が消去されます。

外部機器を聴く

外部機器を接続する

お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

ご注意

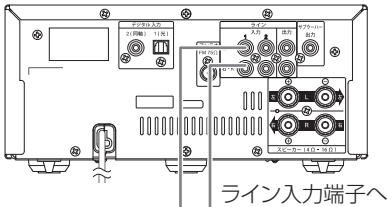
- 本機は PCM 信号のみに対応しています。本機の光デジタル入力端子に接続するときは、外部機器のデジタル音声出力の設定を確認し、PCM 信号が出力されるように設定してください。

1 本機の音量を最小にする

2 本機に外部機器を接続する

- デジタルオーディオプレーヤーなどアナログ音声出力端子がある外部機器の場合は、本機のライン入力端子に、オーディオコード(市販品)を使用して接続します。

本体背面



ライン入力端子へ

デジタルオーディオプレーヤー
(ウォークマンなど)

オーディオコード
(市販品)

アナログ音声
出力端子へ

- テレビなど光デジタル出力端子がある外部機器の場合は、本機の光デジタル入力端子に、光デジタルケーブル(市販品)を使用して接続します。

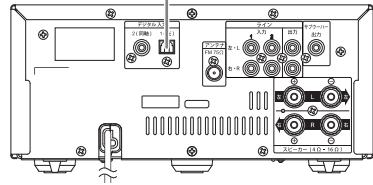
テレビなど



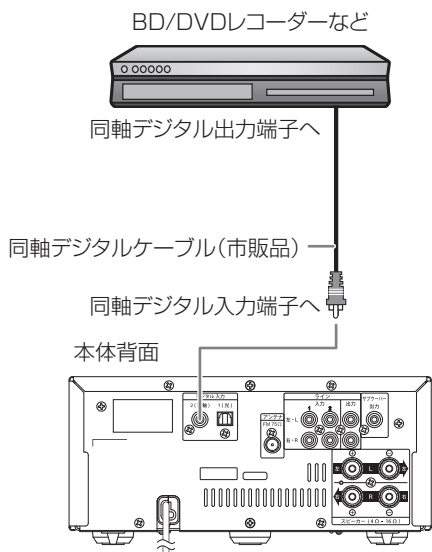
光デジタル出力端子へ
※テレビなどのデジタル音声出力
をPCM信号が出力されるように
設定してください。

光デジタルケーブル(市販品)

本体背面 光デジタル入力端子へ



- BD/DVDレコーダーなど同軸デジタル出力端子がある外部機器の場合は、本機と同軸デジタルケーブル(市販品)を使用して接続します。



外部機器を聴く

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン

本体

外部入力

SOURCE



(くり返し押す)

(くり返し押す)

DIGITAL IN1 : デジタル入力 1(光)端子に接続した外部機器を再生するとき

DIGITAL IN2 : デジタル入力 2(同軸)端子に接続した外部機器を再生するとき

LINE1 : ライン入力端子 1 に接続した外部機器を再生するとき

LINE2 : ライン入力端子 2 に接続した外部機器を再生するとき

2 外部機器を再生する

3 音量を調整する

お知らせ

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM(32 kHz ~ 192 kHz)です。

USB メモリーに録音する

本機では、音楽 CD、ラジオ放送 (FM)、外部機器 (LINE1 / LINE2) の音を USB メモリーに録音することができます。

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 2GB 以下の USB メモリー (FAT16) では正常にご使用いただけません。4GB 以上 (FAT32) のものをご利用ください。
- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 録音する前に、空き容量が十分にある USB メモリーを USB 端子に接続してください。(p. 21)
- 別の機器で使用した USB メモリーは、パソコンでファイルシステムを「FAT32」形式でフォーマットしてからお使いください。
- 録音中は、USB メモリーを抜かないでください。USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- お使いの USB メモリーによっては、録音中に本機から再生される音声が入切れることがあります。
- スリープタイマー動作中に録音を開始した場合は、スリープタイマーが解除されます。

お知らせ

- 録音中に本機の音量や音質を変えても、録音される音声には影響ありません。
- 本機では、ファイル(曲)の削除、分割、名称変更、タグ (TAG) 情報の変更などはできません。パソコンなどをご利用ください。
- SD カードリーダーを使用しての録音は対応していません。

録音できる時間の目安

| 容量 | 128kbps | 192kbps |
|------|----------|----------|
| 4GB | 約 67 時間 | 約 45 時間 |
| 8GB | 約 135 時間 | 約 90 時間 |
| 16GB | 約 270 時間 | 約 180 時間 |

録音音質を設定する

1 設定したいソース(音源)を選ぶ

- 「CD」、「FM」、「LINE1」、「LINE2」から選びます。

2 「Bit Rate」を選ぶ

録音
モード



(くり返し押す)

3 録音音質の設定を開始する

リモコン



決定

本体

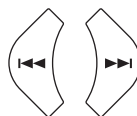
MODE/ENTER



(押す)

4 「128kbps」または「192kbps」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)



決定

本体



(回す)



(押す)

お知らせ

- 「CD」で録音音質を設定するときは、再生を停止してください。

CD を録音する

ご注意

- MP3/WMA ファイルを記録した CD-R など、音楽 CD 以外のディスクから録音することはできません。
- 録音中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりしないでください。録音が正常に行われず、録音できない可能性があります。
- 「CD Reading」中は録音を開始できません。「CD Reading」が完了するのをお待ち下さい。

お知らせ

- 音楽を聴きながらの等速録音です。
- 録音時、CD のランダム再生やリピート再生はできません。

音楽 CD を全曲録音する

1 ソース(音源)を「CD」にする

リモコン



本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 再生を停止する

リモコン

チューナーモード



本体



3 録音する



USB 録音

- CD が再生されると同時に録音が始まります。
- 全曲再生後に CD と USB は停止します。
- 途中で録音を停止したいときは [■] ボタンを押します。

お知らせ

- 曲ごとにファイルができます。

音楽 CD から 1 曲録音する

1 曲だけ選んで録音することもできます。

1 ソース(音源)を「CD」にする

リモコン



本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 再生を停止する

リモコン

チューナーモード

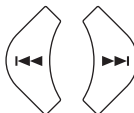


本体



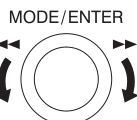
3 録音をしたい曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

4 録音する



USB 録音

- 途中で録音を停止したいときは [■] ボタンを押します。

録音モードを設定する

外部機器の録音音量を設定する

1 ソース(音源)を「LINE1」または「LINE2」から選ぶ

リモコン

外部入力



本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 「Rec Level」を選ぶ

録音
モード



(くり返し押す)

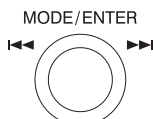
3 録音音量の設定を開始する

リモコン



決定

本体

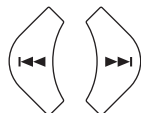


MODE/ENTER

(押す)

4 お好みの音量を選ぶ

リモコン

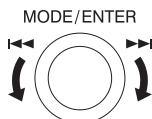


(くり返し押す)



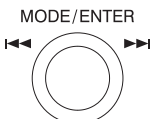
決定

本体



MODE/ENTER

(回す)



MODE/ENTER

(押す)

録音ファイルを自動分割する

ラジオや外部機器の録音中に、録音ファイルを 15 分または 30 分ごとに自動分割できます。

1 ソース(音源)を「FM」、「LINE1」、「LINE2」から選ぶ

リモコン

FM



外部入力



(くり返し押す)

本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 「Time Mark」を選ぶ

録音
モード



(くり返し押す)

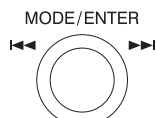
3 自動分割の設定を開始する

リモコン



決定

本体

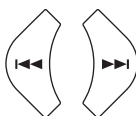


MODE/ENTER

(押す)

4 希望の分数を選択する

リモコン

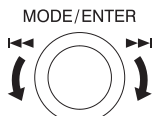


(くり返し押す)



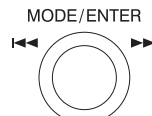
決定

本体



MODE/ENTER

(回す)



MODE/ENTER

(押す)

・ 曲が区切られるとき、約 2 秒間音が途切れます。

・ Rec Level 選択範囲: -9~+9

録音ファイルを手動分割する

ラジオや外部機器の録音中に、録音ファイルをお好みの場所や長さで分割できます。

ラジオや外部機器の録音中に



USB録音

「New file」と表示され、録音は手動で分割されます。

- 手動分割では、5秒以下で分割することはできません。一度分割したら5秒お待ち下さい。

お知らせ

- ソース(音源)が「CD」のときは、「Rec Level」と「Time Mark」は表示されません。
- 設定は電源を切っても記憶されます。
- 外部機器の録音ファイルの音量が小さすぎたり大きすぎるときは、外部機器の録音音量を調整してください。

音質を設定する

再生音質を高める(「K2」機能)

「K2」機能は、変質・劣化したデジタル音源の高周波数帯域、微小信号に拡張処理を施し、オリジナルマスターと同等(最大 192kHz、24bit)の復元を可能にします。CD はもちろん、圧縮音源やストリーミング音源も、原音に忠実なハイレゾ相当の高音質で楽しめます。

ご注意

ソース(音源)が「BLUETOOTH」、「USB」、「CD」、「DIGITAL IN1」、「DIGITAL IN2」のときに設定できます。

K2

(くり返し押す)

K2



(くり返し押す)

- ・ 押すたびにオンとオフが切り換わります。
- ・ 「K2」機能がオンのときは、「K2」インジケーターが白色に点灯します。

お知らせ

- ・ お買い上げ時は、「K2」機能がオンに設定されています。
- ・ ヘッドホンおよびライン出力からの音声にも効果がありません。

重低音を強める

AHB

(くり返し押す)

- ・ 押すたびにオンとオフが切り換わります。
AHB をオンにする : 「AHB On」を選んでください。
AHB をオフにする : 「AHB Off」を選んでください。

お知らせ

- ・ お買い上げ時の設定は、「AHB On」です。
- ・ ヘッドホンからの音声には効果がありません。
- ・ 録音音質に影響はありません。

お好みの音質に設定する

高音

低音



音量

+

-

(くり返し押す)

高音 (Treble) : [高音] ボタンを押してから、
[+/- (音量)] ボタンで調整する

低音 (Bass) : [低音] ボタンを押してから、
[+/- (音量)] ボタンで調整する

- ・ 調整範囲: -5 ~ +5

お知らせ

- ・ お買い上げ時の設定は、「Treble 0」/「Bass 0」です。
- ・ ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- ・ 録音音質に影響はありません。

スピーカーの左右の音量バランスを調整する



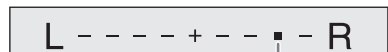
バランス

(くり返し押す)

- ・ バランスは左右 7 段階の調整が可能です。

バランス調整の表示例

以下の図は、右に 5 段階調整したときの表示例です。2、4、6 段階目では、カーソルは動きませんが、音量は変化します。



カーソル

その他の機能

表示部の明るさを変える

ディマー



(くり返し押す)

押すたびに表示部の明るさが次のように切り換わります。

Dimmer 1(やや暗い) → Dimmer 2(暗い) →
Dimmer Off(明るい) → (最初に戻る)

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「Dimmer Off」です。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

表示される情報を変える

表示



(くり返し押す)

押すたびに各種の情報表示に切り換わります。

お知らせ

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- USB メモリー内にある MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイル、または CD 内にある MP3 / WMA ファイルの再生中は、ファイル名 → フォルダー名 → 曲名 → アーティスト名 → アルバム名の順番に切り換えることができます。
- 表示される文字は半角英数のみです。漢字などの文字は「*」と表示されます。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。

スリープ



(くり返し押す)

押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。

Sleep Off → Sleep 10 → Sleep 20 → Sleep 30 →
Sleep 60 → Sleep 90 → Sleep 120 → (最初に戻る)

- スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- スリープタイマーを解除するときは、「Sleep Off」を選んでください。

お知らせ

- 録音中は、スリープタイマーを設定できません。

残り時間を確認する

スリープ



残り時間を数秒間表示します。

オートパワーセーブ(節電機能)を設定する

オートパワーセーブとは、以下のいずれかの状態で約15分間何も操作しない場合に、本機の電源を自動的に切る機能です。

| ソース(音源) | 本機の状態 |
|-------------------------------------|---|
| BLUETOOTH | <ul style="list-style-type: none">• BLUETOOTH 機器を接続していないとき• 音声入力がないとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき |
| USB | <ul style="list-style-type: none">• USB メモリーを接続していないとき• 停止状態のとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき |
| CD | <ul style="list-style-type: none">• CD がないとき• 停止状態のとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき |
| FM | <ul style="list-style-type: none">• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき |
| DIGITAL IN1、DIGITAL IN2、LINE1、LINE2 | <ul style="list-style-type: none">• 音声が入力されていないとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき |

お知らせ

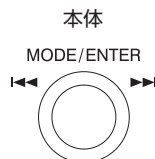
- お買い上げ時は、オートパワーセーブがオンに設定されています。
- 本機の電源が切れる約30秒前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
- 途中でボタン操作をした場合は、その時点から15分後に電源が切れます。
- 録音中は、オートパワーセーブは動きません
- スリープタイマー作動中は、オートパワーセーブは動きません。

オートパワーセーブ(節電機能)をオフに設定する

オートパワーセーブをオフにするときは、以下の操作をしてください。

BLUETOOTH スタンバイ(p. 17)のときに

「A.P.S. Off」を選ぶ



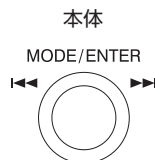
(約2秒間押し続ける)

オートパワーセーブ(節電機能)をオンに設定する

オートパワーセーブを再度オンにするときは、以下の操作をしてください。

BLUETOOTH スタンバイ(p. 17)のときに

「A.P.S. On」を選ぶ



(約2秒間押し続ける)


その他の情報

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH Ver.4.2 に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

再生できる CD とファイル

- CD 規格 (CD-DA) に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージの注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることを確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

| | |
|------|---|
| CD | 下記のマークのある CD を再生することができます。    |
| ファイル | • 音楽 CD フォーマットの CD-R / CD-RW • CD-R/CD-RW の MP3/WMA ファイル |

CD-R / CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式 (UDF フォーマット) は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

USB メモリーのご注意

- 再生できる USB メモリーのファイルは、MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルです。
- USB 端子には、USB メモリー以外の機器を接続しないでください。
- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- 本機で録音に使用できる USB メモリーはファイルシステム「FAT32」、容量 4GB 以上です。それ以外の USB メモリーや、お使いの USB メモリーによっては、録音中の再生音が途切れる場合があります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- USB メモリーによっては、誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのご注意

- 再生できる MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルは <.mp3>、<.wma>、<.wav> または <.flac> の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオまたは MP3 / WMA / WAV / FLAC を再生できません。

サンプリング周波数

| オーディオファイル | サンプリング周波数 |
|-----------|--|
| MP3 | 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz |
| WMA | 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz |
| WAV | 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz |
| FLAC | 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz |

転送レート

| オーディオファイル | 転送レート |
|-----------|--------------------|
| MP3 | 32 kbps ~ 320 kbps |
| WMA | 64 kbps ~ 160 kbps |

量子化ビット数

| オーディオファイル | 量子化ビット数 |
|-----------|----------------|
| WAV | 16 bit, 24 bit |
| FLAC | 16 bit, 24 bit |

- ・本機は USB メモリー 1 つあたり最大 999 のフォルダーおよび 60,000 のファイルを認識します。
- ・本機は CD1 枚あたり最大 99 のフォルダーおよび 500 のファイルを認識します。1 フォルダー内の最大ファイル数は 99 です。
- ・DRM (著作権保護) ファイルは「Not Supported」と表示してスキップします。
- ・VBR ファイルの早送り、早戻しには対応していません。また、正しく再生できない場合があります。
- ・1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- ・録音状態や記録方法によっては再生できない MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- ・最大フォルダー数、最大ファイル数、1 フォルダー内の最大ファイル数を超えたディスクでは認識できない場合があります。
- ・ファイル名、タグ表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字は「*」に置き換えて表示されます。
- ・本機は、ID3 TAG VERSION 2 (曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダー名を表示できます。(ただし半角英数字のみ)
- ・CD、USB のファイル名/フォルダー名およびタグ表示(タイトル/アルバム/アーティスト名)の最大文字数は 16 文字です。

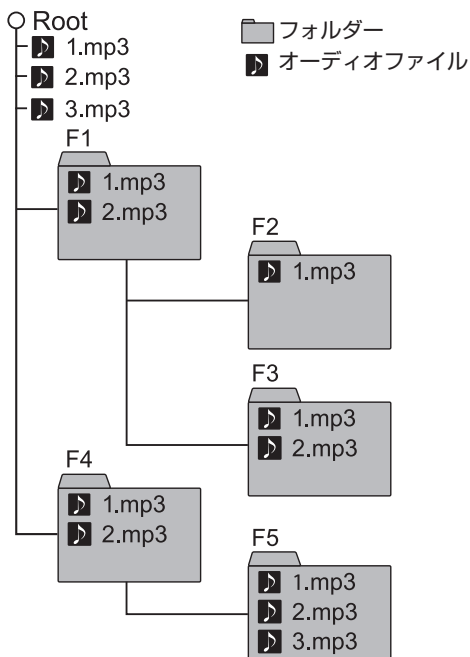
ファイルの再生順について

オーディオファイルは、CD-R/CD-RW や USB メモリーなどの Root (ルート) にあるものから再生されます。

本機がフォルダーやオーディオファイルを再生する順番は以下のとおりです。

実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトウェアなどにより異なることがあります。

フォルダー構成例



ファイルの再生順

- 1 曲目 : 1.mp3
- 2 曲目 : 2.mp3
- 3 曲目 : 3.mp3
- 4 曲目 : F1_1.mp3
- 5 曲目 : F1_2.mp3
- 6 曲目 : F2_1.mp3
- 7 曲目 : F3_1.mp3
- 8 曲目 : F3_2.mp3
- 9 曲目 : F4_1.mp3
- 10 曲目 : F4_2.mp3
- 11 曲目 : F5_1.mp3
- 12 曲目 : F5_2.mp3
- 13 曲目 : F5_3.mp3

お知らせ

- ・もし曲順が変わってしまう場合は、パソコンでデスクトップに任意のフォルダーを作成し、USB メモリー内の音楽を作成したフォルダー内にコピーし、曲名の先頭に「01・・・MP3」、「02・・・MP3」などの数字を付けてから、FAT32 形式でフォーマットした USB メモリーにフォルダーごと書き込んでください。

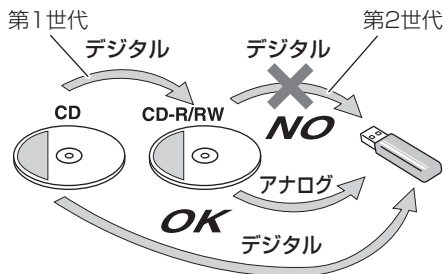
SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)

CDの音を他のデジタル機器(MDやUSBメモリーなど)にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできません。つまり、「コピーのコピー」を作成することはできません。この決まりをSCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)といいます。

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

- この規定により、一度デジタル録音されたCDからは、USBメモリーにデジタル録音することはできません。
- 本機ではCD-R/RWからのアナログ録音はできません。



お手入れについて

CDの取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき



ケースに入れるとき



- CDにテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください

- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CDをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ 連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from iPhone K.K.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google LLC.の商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。
- Qualcomm® aptX™ audio は、Qualcomm Technologies International, Ltd. の製品です。Qualcomm® は、米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Incorporated の商標であり、許可を得て使用しています。aptX™ は米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Technologies International, Ltd. の商標であり、許可を得て使用しています。
- AAC は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ
<http://www3.jvckenwood.com/>
から最新の製品 Q&A 情報をご覽い
ただくことで解決できます。



カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホーム
ページや下記をチェックしてください。
ホームページの内容は予告なく変更になることがあり
ます。

正しく動作しないときは本機をリセットしてくだ さい。

本機を操作できない、表示部が誤表示されるなどの場
合には、次の手順で本機をリセットしてください。
リセットすると、各種の設定内容(放送局プリセット、
タイマー設定など)は消去され、お買い上げ時の状態
となります。

- 1 **BLUETOOTH** スタンバイ(p. 17)のときに、リモ
コンの[◀◀]ボタンを押す
- 2 リモコンの[■]ボタンを押し続ける
・「Initialize」と表示された後、BLUETOOTH スタ
ンバイになります。
- 3 電源コードのプラグをコンセントから抜く
- 4 電源コードのプラグを再度コンセントに差し込む
本機がリセットされ、お買い上げ時の状態とな
ります。

共通

電源が入らない。

- ➔ 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続
されているか確認してください。
- ➔ 電源コードをコンセントから抜いて、1分程度経っ
てから差し込みなおしてください。

突然電源が切れてしまう。

- ➔ オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(p. 39)
- ➔ スピーカーの配線がショートしていないか確認
してください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- ➔ 操作には時間制限があるものがあります。もう一
度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮ら
れていませんか。
- ➔ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電
池と交換してください。

音声が聴こえない。

- ➔ 音量が最小になっていませんか。
- ➔ 消音を解除してください。
- ➔ ヘッドホンをはずしてください。
- ➔ スピーカーが正しく接続されているか確認して
ください。特に、スピーカーコードを被覆まで差し込
んでいないか、確認してください。(p. 12)

デジタル入力端子(DIGITAL IN1、DIGITAL IN2)か ら音が出ない

- ➔ 外部機器を正しく接続してください。
- ➔ 外部機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設
定しているか、確認してください。

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっ
ているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、
「A2DP」に対応しているか確認してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、
「AVRCP」に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機と
の間に電波に干渉する機器などがある可能性が
あります。本機に近づけても改善されない場合
は、本機の設置場所を変更してみてください。

USB メモリー／CD

再生できない。

- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ CD はラベル面を上にして入れてください。
- ➔ CD またはレンズが汚れていませんか。CD またはレンズを清掃してください。
- ➔ 「パケットライト方式(UDF フォーマット)」で録音された CD は再生できません。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 18)または本機のライン入力端子に接続してください。(p. 30)
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、10 曲程度転送して再生できるかお試しください。改善しない場合は、USB メモリーを交換してください。

MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルのフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

- ➔ 本機は USB メモリーに音楽ファイルが記録されている順番に再生します。USB メモリー内のファイル操作(削除、追加、移動、名前の変更など)を繰り返すことにより、順番が入り替わることがあります。その場合は、パソコンで USB メモリーをフォーマットした後に再度転送してください。

USB メモリーや CD からの音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。
- ➔ 正しく記録された MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルを再生してください。
- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルを転送して再生できるかお試しください。

USB メモリーに録音したファイルを CD-R にコピーしたい。

- ➔ パソコンでの操作になりますので、お使いのパソコンのメーカーにご相談ください。

CD トレイが開かない

- ➔ チャイルドロックがオンになっています。設定を解除してください。(p. 26)

ラジオ

放送が聴こえない。

- ➔ アンテナを正しく接続してください。(p. 14)

雑音が多く放送が聴きづらい。

- ➔ FM アンテナを調節してください。(p. 28)
- ➔ 窓際などで受信できるかお試しください。

外部機器

外部機器の音声が聴こえない。

- ➔ 外部機器を正しく接続してください。(p. 30)
- ➔ ソース(音源)が外部機器を接続した入力端子(DIGITAL IN1、DIGITAL IN2、LINE1、LINE2 のいずれか)になっているか確認してください。
- ➔ 外部機器の音量を確認してください。

録音

録音できない。

- ➔ USB メモリーの空き容量がありません。
- ➔ USB メモリーの書き込み禁止を解除してください。

その他

不自然な音になっている。

- ➔ スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。配線を確認してください。(p. 12)

主な仕様

本体(CA-EXHR10000/CA-EXHR99/CA-EXHR55)

アンプ部

実用最大出力: 50 W + 50 W (JEITA* 4 Ω)

CD プレーヤー部


読み取り方式: 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

チューナー部

受信周波数: FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz

FM: 75 Ω 不平衡型

入出力端子

USB: 出力: DC 5 V  1 A
仕様: USB2.0 ハイスピード
対応機器: USB マスストレージクラスデバイス
ファイルシステム: FAT16、FAT32
対応ファイル形式: MP3 / WMA / FLAC / WAV

DIGITAL IN: OPTICAL 入力端子 (角型光端子) x 1

COAXIAL 入力端子 x 1

LINE IN: RCA 入力端子 x 2 系統

LINE OUT: RCA 出力端子 x 1 系統

SUBWOOFER OUT: RCA 出力端子 x 1

PHONES: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 4.2

送信出力: Class 1

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

対応コーデック: SBC / AAC / aptX

対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

共通部

電源: AC 100 V、50 Hz / 60 Hz

消費電力: 45 W (定格消費電力)
11 W 以下 (BLUETOOTH スタンバイモード時)
0.5 W 以下 (ノーマルスタンバイモード時)

最大外形寸法: 幅 279 mm × 高さ 118 mm × 奥行き 289 mm (CA-EXHR10000/CA-EXHR99)

幅 248 mm × 高さ 117 mm × 奥行き 289 mm (CA-EXHR55)

質量: 4.3 kg (CA-EXHR10000/CA-EXHR99)

3.3 kg (CA-EXHR55)

スピーカー(SP-EXHR10000/SP-EXHR99/SP-EXHR55)

| | |
|------------|---|
| システム: | 1 ウェイ バスレフ型 |
| スピーカーユニット: | フルレンジ: 90 mm ウッドコーン型(SP-EXHR10000/SP-EXHR99) フルレンジ: 85 mm ウッドコーン型(SP-EXHR55) |
| インピーダンス: | 4 Ω |
| 最大入力: | 50 W |
| 最大外形寸法: | 幅 120 mm × 高さ 161 mm × 奥行き 264 mm(SP-EXHR10000/SP-EXHR99) 幅 120 mm × 高さ 161 mm × 奥行き 246 mm(SP-EXHR55) |
| 質量(1本あたり): | 2.2 kg(SP-EXHR10000/SP-EXHR99) 1.8 kg(SP-EXHR55) |

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輦、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - 消耗品(電池など)の消耗。
 - (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについては、下記ホームページをご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。



固定電話からはフリーダイヤル:0120-2727-87

携帯電話・PHSからのご利用はナビダイヤル:0570-010-114

一部IP電話からのご利用は:045-450-8950

受付時間:月曜～金曜 9:30～18:00 / 土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

保証書

持込修理

| | | |
|----------|--------------------------------|-------------------------------|
| 品名 | オーディオ商品 | 製造番号 |
| 型名 | EX-HR10000/ EX-HR99/EX-HR55 | |
| お客様 | お名前 | ふりがな |
| | ご住所 | 〒0000000 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 |
| お買い上げ年月日 | | お買い上げ日 |
| 年 月 日 | | 証期間 本体 1年間 |
| お買い上げ店 | | 住所・店名・電話 |

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。
万一記入がない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <http://www.victor.jp/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12